

留学先大学：西オーストラリア大学留学先での所属学部・研究科：Faculty of Arts留学先での在籍身分：Exchange student留学期間：2013年2月～2013年11月神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部学年（出発時）：3年本報告書記入日：2013年12月10日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	English Langage and	Penny Hawken	3	6	30	レポートの書き方からプレゼンテーションの仕方まで、課題に取り組みながら実践的に学べます。受講生は皆留学生なのでお互い励まし合いながら頑張ることができました。
2	The Liberal Democratic	David Van Mill	3	6	350	前半は、「自由」など基本的な概念を学び、後半はアメリカ、イギリス、オーストラリアなど各国の政治の仕組みについて勉強しました。レポート2回と期末テストがあります。
3	Days of our lives: Gender	Joanne McEwan	3	6	90	講義のあとにワークショップがあり、講義で学んだことを参考にしながら、ディスカッションをしました。チュートリアルでは毎週リーディングの課題があります。
4	Australian Society,	Martin Forsey	3	6	90	オンラインでのリーディング課題、講義に加え、少人数のワークショップ、チュートリアルがあります。期末テストはなく、オーストラリア人にインタビューをして、それをまとめるという最終レポートがあります。
5	Communicat ion in	Michael Champion	2～3	6	30	ロジック、レトリック、ジャンルなどのテーマを通して、論理的に、また説得力のある英語を身につけることができます。オンラインでのクイズ、プレゼンテーション、レポート、そして期末テストがありました。
6	The Contempora	Sarah Percy	3	6	320	Semester1のPOIS1101の延長上の授業で、国際関係論における重要な理論・テーマについて学びます。基礎を勉強する授業ですが、時事的なことも扱うため取り組みがいがありました。
7	Intemational Relations in	Jie Chen	3	6	130	POIS1102と重なる内容もあったが、こちらは東アジアに特化しています。エッセイとチュートリアルでのプレゼンテーション、また期末試験があります。
8	Education for a Global	Lesley Vidovich	3	6	150	教育とグローバル化について様々な視点から学ぶことができました。ペアでのプレゼンテーション、またエッセイと期末試験があります。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

4つの授業それぞれに、講義、ワークショップ、チュートリアルが1時間ずつあり、週12時間の授業を受けました。IMSという大学のサイトを利用し、授業の資料や講義などを手に入れることができ、復習やテスト勉強にととても役立ちました。それぞれの授業は100人単位で受講生がいますが、ワークショップやチュートリアルは少人数で行われるため、授業内のディスカッションなどでより理解を深めることができました。成績評価は、レポートや期末テスト、チュートリアルの参加などによって評価されますが、シラバスで詳しい評価方法が確認できます。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃：12万円・住居費：（月額） \_\_\_\_\_ ×（留学月数） 10ヶ月 = 150万円（食費込）

・食費：（月額） \_\_\_\_\_ ×（留学月数） \_\_\_\_\_ヶ月 = \_\_\_\_\_

・保険料：11万円・その他：ビザ（約8万円） その他（約20万円）合計：約200万円（留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。(800字～)

私の西オーストラリア大学での交換留学を振り返ると、本当にたくさんのことを学んだ10ヶ月だったと思います。語学力はもちろんのこと、モチベーションの高い海外の学生に刺激も受けました。周りの学生たちは、勉強する時とその他のときのメリハリをきっちりつけていて、レポートや期末試験に真摯に取り組む姿には大変刺激を受けました。また、海外の大学で教育を受けられたということもたくさんのことを学ぶ機会になりました。日本の大学に比べると、学生自身の積極性や貢献、参加がより求められるUWAでは、自分の英語の出来なさや積極性のなさから最初は戸惑ったり、悔しさを感じたりすることが多くありました。2学期を終えた今振り返ると、最初のころと比べ少しは成長したのではないかと感じています。

また、私にとって寮での生活はこの留学生活の中でとても大きいものになりました。比較的小規模な寮でイベントもたくさんあったため、寮のみんなの顔と名前はすぐ覚えられました。ホームステイやシェアハウスに比べて、あまり大学近辺以外へ出かけることがなかったり、大学外の知り合いができにくかったりというデメリットもあるかもしれませんが、その分寮で仲のよい友達がつくれたと思います。大学で悔しい思いをすることもたくさんありましたが、寮に帰ると友達、頼れる寮のスタッフやRAさんがいるという環境はとても心強かったです。また寮にはオーストラリア出身の学生だけでなく世界各国からのInternational studentsも多く、オーストラリアだけでなく様々な文化に触れる経験ができました。また、学校の授業の補習のような形のチュートリアルを寮でうけることができたり、同じ授業をとっている友達と一緒に勉強したりと学業の面でも、寮での生活はプラスになったと思います。

一方で、後悔していることもあります。留学の前にもっと英語力を身につけていれば、チュートリアルでもっと発言できたのではないか、もっと内容を深めたレポートが書けたのではないか、ということや、もっと効率よくまた積極的に留学生活を送っていたら、課外活動ももっとできたのではないか、ということなどです。なので、100点満点の交換留学だったとは言えませんが、留学してみなければ得られないたくさんのごことが得られた、本当に良い経験になりました。この留学を通して得たこと、この留学を通してたくさんの人とであったことは、私にとって一生の宝になると思います。